



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-62

(2022. 8. 8)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の余資運用資産残高の動向（2021年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

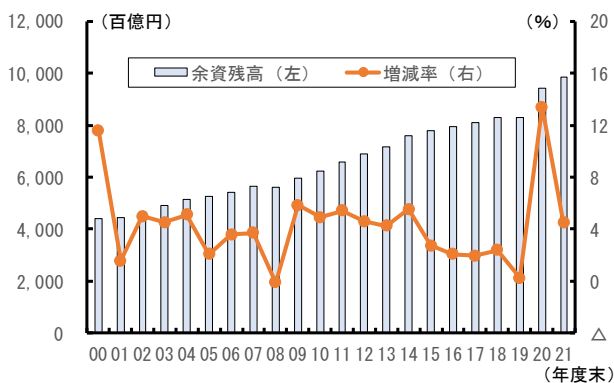
- 2021年度末の信用金庫の余資運用資産残高は、前期比4.4%、4兆2,193億円増加の98兆4,798億円となり、13年連続で前期を上回った。
- 地区別の余資運用資産残高は、全11地区で2011年度末から2桁の増加となる。近畿、東海の伸び率が60%を超え、九州北部の50.3%増が続いた。
- 余資運用残高と貸出金残高の増減関係を2011年度末と2021年度末で比較すると、余資運用資産残高・貸出金残高ともに増加が208金庫に達した。
- 2021年度末の信用金庫別の余資運用資産比率（資産合計に占める割合）は、①40%未満が11金庫、②40%～50%未満が54金庫、③50%～60%未満が107金庫、④60%以上は82金庫だった。

1. 全国状況

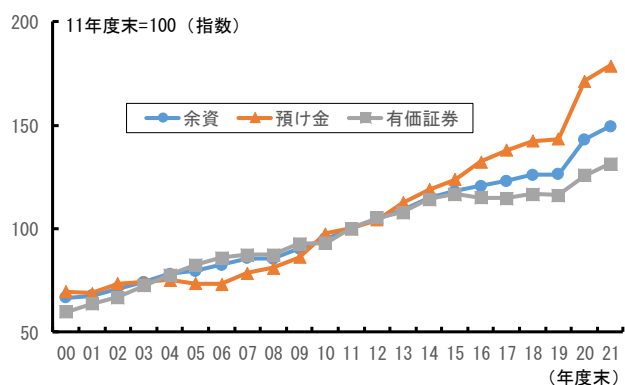
2021年度末の信用金庫の余資運用資産残高は、前期比4.4%、4兆2,193億円増加の98兆4,798億円となり、13年連続で前期を上回った（図表1）。信用金庫の預貸率が5割前後で伸び悩むなか、収益獲得のため余資運用に力を入れる信用金庫は多い。

余資運用資産残高は大きく、預け金（2021年度末、47兆3,339億円）と有価証券（同48兆6,875億円）からなる。そこで2011年度末を100として指数化し余資運用資産残高の変化状況をみてみることにした（図表2）。余資運用資産残高が2021年度末に149.4となるなか、預け金残高は178.8、有価証券は131.3となった。なお、特に新型コロナで預金残高が大きく伸びた2020年度については、預け金・有価証券ともに高い伸びを示し、2021年度についても増勢を維持している。

（図表1）余資運用資産残高の推移



（図表2）余資運用資産残高等の変化状況



- （備考）
1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
 2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 3. 図表1から5まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

地区別の余資運用資産残高は、全 11 地区で 2011 年度末から 2 桁の増加となった（図表 3）。なかでも近畿（64.3%増）、東海（60.1%増）の増加率が目立つ。その一方で、北陸の伸びは 21.2%に留まった。

（図表 3）地区別の余資運用資産残高

（単位：百億円、%）

地区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		資産対比 割合	1金庫あたり 残高
						増減額	増減率		
北海道	276.7	311.3	396.1	558.9	583.6	187.4	47.3	61.9	29.1
東北	173.8	192.9	273.9	386.2	403.9	129.9	47.4	59.6	14.9
東京	718.8	892.4	1,138.6	1,491.2	1,595.1	456.4	40.0	49.6	69.3
関東	869.2	1,000.6	1,252.6	1,706.5	1,772.1	519.4	41.4	54.6	36.1
北陸	139.3	170.7	210.6	250.0	255.3	44.7	21.2	58.8	17.0
東海	917.4	1,102.8	1,338.9	2,063.6	2,144.2	805.3	60.1	56.4	63.0
近畿	823.2	996.4	1,285.0	2,015.2	2,112.3	827.2	64.3	54.2	72.8
中国	211.9	247.4	280.4	377.2	389.4	109.0	38.8	52.0	19.4
四国	89.2	141.6	181.6	251.7	259.0	77.4	42.6	67.3	25.9
九州北部	74.8	85.6	100.6	148.3	151.2	50.6	50.3	50.6	11.6
南九州	93.3	101.0	124.1	166.7	171.0	46.8	37.7	49.2	13.1
全国	4,392.4	5,247.7	6,587.9	9,426.0	9,847.9	3,259.9	49.4	54.6	38.7

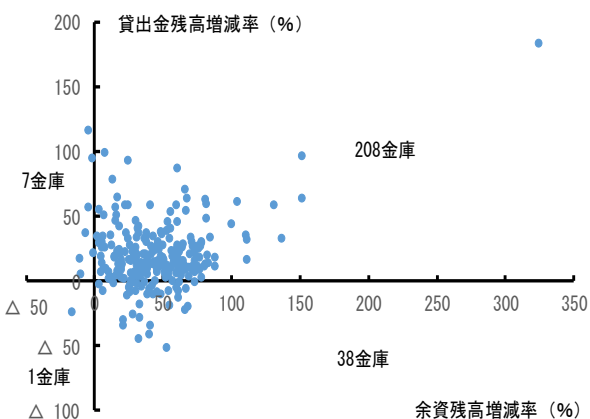
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

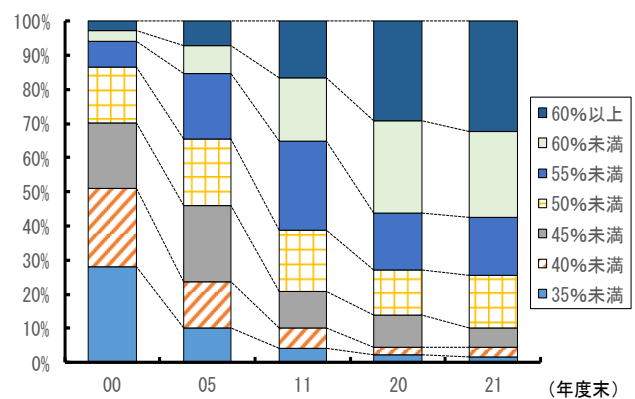
余資運用資産残高と貸出金残高の増減関係を 2011 年度末と 2021 年度末で比較すると、①余資運用資産残高・貸出金残高ともに増加が 208 金庫（構成比 81.8%）に達し、②余資運用資産増加・貸出金残高減少の 38 金庫（同 14.9%）などが続いた（図表 4）。

また 2021 年度末の信用金庫別の余資運用資産比率（資産合計に占める割合）は、①40%未満が 11 金庫（同 4.3%）、②40%～50%未満が 54 金庫（同 21.2%）、③50%～60%未満が 107 金庫（同 42.1%）、④60%以上は 82 金庫（同 32.2%）となった（図表 5）。なかでも 60%以上の割合が 2011 年度末の 16.6%（45 金庫）から上昇している。

（図表 4）余資運用資産残高と貸出金残高の増減関係（11→21 年度末）



（図表 5）信用金庫別の余資運用資産比率



以上